

平成30年度 独創的研究助成費 実績報告書

平成31年 3月29日

報告者	学科名	造形デザイン学科	職名	准教授	氏名	関崎 哲
研究課題	版を用いた表現の今日的意義					
研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担	
	代表	関崎 哲	デザイン学部造形デザイン学科准教授	版画、絵画		
	分担者					
研究実績の概要	<p>研究実績の概要</p> <p>「プリンティング表現の教育・普及に関する研究」というテーマの下、「実際に素材に触れながら思考を深め作品化する」という版表現としての制作プロセスを踏まえた教育・普及活動を実践した。</p> <p>本年度は一連の研究のまとめとして、版そのものに関する考察を深め、「版」とは何か問うことで見えてくる版表現の今日的意義について明らかにした。</p> <p>・実施した版表現ワークショップ及び企画展示</p> <p>①銅版画・石版画実技講座 H30.4.15~H31.3.24 倉敷市立美術館</p> <p>②県大はながこうぼう in チュッピー広場 H31.3.25 共通等西 チュッピー広場</p> <p>③版表現の楽しみⅢ～凸版・平版～ H30.4.21~5.6 吉備路文化館</p> <p>凸版・平版による版表現の具体的技法・作例を紹介</p> <p>④版表現の楽しみⅣ・「版」とは何か H31.3.21~4.14 吉備路文化館</p> <p>「版とは何？」という問いかけを、倉敷市立美術館の初級版画講座受講生や県立大学の版画制作経験者に行い、帰ってきた答えをもとに展示セクションを構成した。また、テーマを踏まえて総社市・吉備路文化館が所有する「森コレクション」の中から、関連する作品をピックアップし、展示した。これらの作品展示に加えて、「版とは何か」という問いかけに対する一つの考え方を示すような解説パネルの展示もおこなった。</p>					
成果資料目録	<ul style="list-style-type: none"> ・版表現の楽しみⅣ 記録資料 ・県大はながこうぼう in チュッピー広場 記録資料 					